

白いんげんの安定栽培法

【白いんげん「姫手亡」の特徴と栽培のポイント】

(1)特徴

叢性（蔓にならない）の種実用いんげん（手亡）で、種皮色は白色、白餡等の原料として用いられます。

(2)栽培のポイント

ア 県南部（沿岸南部含む）における「姫手亡」の播種期は5月中旬～6月上旬が適期であり、開花期は7月上旬～中旬、成熟期は8月下旬～9月上旬です。子実重は250～300kg/10a程度が見込めます。

イ 栽植密度は畦間70cm×株間15～20cm×1～2本仕立て（アール当たり700～1,500本）が適します。

ウ 施肥量はN-P-K=4-20-10(kg/10a)程度とします。培土は播種後30日に実施し、中耕は播種後30日～60日の間に2～3回行います。

エ 雑草防除は、播種後から出芽前に除草剤を散布し、雑草の発生状況によっては、生育期にも散布します。

オ 病害虫防除は種子消毒を行い、開花期、開花後10日及び20日に殺菌剤、殺虫剤を散布します。

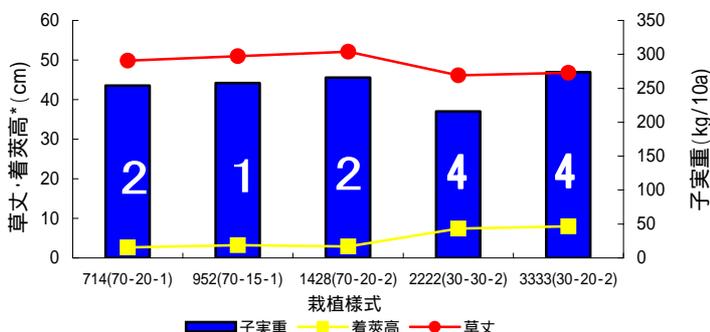
カ 成熟後、約2週間で精子実の20%程度まで腐敗粒、着色粒が増加することから、成熟期（全体の8～9割の莢が熟莢色となった日）から1週間以内に収穫します。



表1 各播種期における生育特性及び収量

播種日 (月・日)	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)	草丈 (cm)	着莢高* (cm)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)
5/1	6/25	8/7	44	4.9	184	27.4
5/7	7/2	8/15	48	4.9	238	28.3
5/16	7/6	8/23	54	3.2	258	27.7
5/24	7/13	8/28	57	3.1	290	27.3
6/5	7/19	9/5	40	4.0	299	27.8
6/15	7/25	9/10	41	4.6	188	27.8
6/26	8/7	9月第6半旬	48	3.9	225	31.1

*着莢高：最下着莢節位高の略。

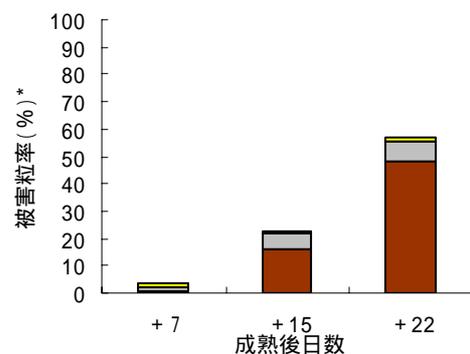


*棒グラフ内の数値：倒伏程度(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚)

*着莢高：最下着莢節位高の略

*栽植様式：栽植本数(本/a)、括弧内の数値は畦間(cm)・株間(cm)・仕立本数を示す

図1 各栽植様式の生育及び子実重



■腐敗 □着色 ■しわ ■その他

*被害粒率は精子実に対する被害粒の重量比率

*播種日：5/24

図2 成熟後の立毛条件における被害粒増加状況